



〈教育目標〉

英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

平成26年10月16日発行

中野中学校だより

No. 8 校長 矢口 仁

陸上競技の魅力 ～ 総体陸上報告 ～ 校長 矢口 仁

スポーツの秋、真っ盛りです。先日は体育の日、「スポーツに親しみ、心身の健康をつちかう」国民の祝日でした。プロ野球はクライマックスシリーズ真っただ中、サッカーは新監督のもと、新しいスタートを切りました。少し前ですが、韓国アジア大会では、水泳の荻野選手をはじめ日本人選手が大活躍しました。その中で私が密かに注目していたのは、陸上十種競技の右代啓祐(うしろけいすけ)選手です。

十種競技は、日本ではマイナーですが、欧米ではその勝者は「キング・オブ・アスリート」と呼ばれ、人気のある種目の一つとなっています。この種目二日間で十種目を行い、総合得点を競います。初日は100m、走幅跳び、砲丸投げ、走り高跳び、400mを、二日目は110mH、円盤投げ、棒高跳び、やり投げ、そして疲労の極地の中で最後の種目である1500mに挑戦します。今回は最後の1500mで、逆転の金メダルでした。

右代選手は、日本記録をもっており、日本人として48年ぶりにオリンピック(ロンドン)に出場しました。競技後のインタビューで「十種競技は、がむしゃらにやるしかないんです。そして、競技を楽しむのです。」というのを聞いて、その爽やかな人柄が気に入り、応援するようになりました。

陸上競技は、「走る・跳ぶ・投げる」という人間の基本的な動きで競い合います。シンプルで、わかりやすい競技です。一瞬の時間に過ぎる100m走や、ただ単に走り続けるマラソンや駅伝が日本で人気があるのは、限界に挑戦する人間の美しさやその裏にあるドラマを感じているからだと思います。

右代選手のように、十種類の競技を二日間で行うというマラソンとは違う意味で限界に挑戦するアスリートが、がむしゃらに努力する姿に私は感動しています。これからも、応援したいと思っています。

さて、9月30日に第46回中野区中学校総合体育大会陸上競技大会が、素晴らしい天気の中、駒沢オリンピック公園陸上競技場で行われました。今回は詳細まで報告させていただきます。(裏面)



○ 個人入賞者一覧

R : リレー H : ハードル

[男子]

種目	氏名	記録	順位
1年 400m R	小林 阿部 笹原 佐藤	51 秒 91	1 位 (都大会出場)
2年 400m R	村山 浜田 坂口 家町	49 秒 99	1 位 (都大会出場)
3年走幅跳	高橋	5 m17	1 位
1年 100m	佐藤	13 秒 00	2 位
共通砲丸投	大金	9 m18	2 位
1.2年走幅跳	村山	5 m08	3 位
3年 100m	吉岡	12 秒 47	4 位
共通 200m	鈴木	25 秒 34	4 位
1年 1500m	中山	5 分 17 秒 91	4 位
3年 3000m	安達	10 分 16 秒 14	4 位
1.2年 100mH	坂口	17 秒 71	4 位
2年 100m	家町	12 秒 62	5 位
共通走高跳	松田	148cm	5 位
共通 110mH	蓮見	21 秒 38	7 位
共通 400m R	鈴木 高橋 大石 吉岡	50 秒 48	7 位

[女子]

1年 400m R	佐藤 菅原 荒井 飯塚	58 秒 10	1 位 (都大会出場)
1.2年 80mH	田森	13 秒 93	1 位
共通 100mH	小山	18 秒 30	1 位
2年 400m R	長島 藤田 田森 金月	56 秒 65	2 位
共通 200m	妙中	29 秒 40	2 位 (都大会出場)
1.2年走幅跳	藤田	4 m16	2 位
共通 400m R	小山 渡邊 横江 妙中	56 秒 94	3 位
3年 100m	渡邊	14 秒 87	4 位
2年 100m	金月	14 秒 05	5 位
共通走高跳	西本	120cm	5 位
3年走幅跳	大平	3 m90	6 位
1年 100m	飯塚	14 秒 77	8 位